

2023年（令和5年）

12月定例会

12月定例会審議結果	2
紙上中継	4
12月定例会一般質問 (町政をただす)	5
あれからどうなった？ (一般質問のその後は)	16

石川町 議会 です

こんにちは

発行／石川町議会

編集／広報常任委員会

今年もみんなで
元気よく
三世代餅つき //

石川町議会
ホームページ



写真／石川文化幼稚園

No. 221

令和6年
2月1日

12月 定例会

令和5年12月定例会は、12月7日から15日までの9日間の会期で開かれ、条例案件13件、補正予算6件、人事案件3件、契約締結3件、陳情2件、議員発議1件の合計28件を審議しました。

一般質問には、10人の議員が登壇し、町政を問いました。また、会期中延べ45人の傍聴がありました。



建築工事が始まる認定こども園

石川町認定こども園建築工事請負契約の締結など全議案を可決

契約締結

◆議案第100号

真明田橋橋梁修繕工事請負変更契約の締結について

工事施工内における詳細調査の結果、橋梁の床板コンクリートの漏水対策工で、水切りプレート材を硬質のプラスチック繊維材からコンクリートとの密着性の強化が図れる柔軟性のあるポリ塩化ビニル

材に変更するなど、変更が生じたことから、請負金額を150万5900円減額し、6097万4100円とする変更契約を締結するものであり、審議の結果、全員異議なく可決されました。

◆議案第101号

石川町認定こども園用地造成工事請負変更契約の締結について

構造物の撤去や電柱移設の追加、接続道路部分の変更など、工事内容に変更が生じたため、請負

金額を1668万7千円増額し、2億786万7千円に変更するものであり、審議の結果、賛成多数で可決されました。

◆議案第102号

石川町認定こども園建築工事請負契約の締結について

制限付き一般競争入札の結果、8億3842万円が高田工業(株)浅川営業所と工事請負契約を締結するものであり、審議の結果、全員異議なく可決されました。

議案・陳情・発議 審議結果

議案番号	議案	審議結果	
議案第 82号	石川町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 83号	石川町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 84号	石川町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 85号	石川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 86号	石川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 87号	石川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 88号	石川町手数料条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 89号	石川町小学校及び中学校条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 90号	石川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 91号	石川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 92号	石川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 93号	石川町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 94号	石川町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員

議案番号	議案	審議結果	
議案第 95号	令和5年度石川町一般会計補正予算(第7号)	可決	全員
議案第 96号	令和5年度石川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	全員
議案第 97号	令和5年度石川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	全員
議案第 98号	令和5年度石川町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	全員
議案第 99号	令和5年度石川町水道事業会計補正予算(第1号)	可決	全員
議案第100号	真明田橋橋梁修繕工事請負変更契約の締結について	可決	全員
議案第101号	石川町認定こども園用地造成工事請負変更契約の締結について	可決	賛成多数
議案第102号	石川町認定こども園建築工事請負契約の締結について	可決	全員
議案第103号	令和5年度石川町一般会計補正予算(第8号)	可決	全員
議案第104号	石川町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	全員
議案第105号	石川町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	全員
議案第106号	石川町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	全員
議案番号	陳情	審議結果	
陳情第 1号	すべての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める陳情	採択	全員
陳情第 2号	健康保険証廃止の中止を求める陳情書	継続審査	全員
議案番号	発議	審議結果	
発議第 4号	すべての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める意見書	可決	全員

補正予算

一般会計補正予算の主なもの

◆第7号

今回の補正は、本年度予定していた事業の進捗に伴い、事業費を減額する一方で、物価高騰に対応する生活困窮世帯緊急支援事業に845万3千円、認定こども園の給食調理機器の購入費として、3483万3千円、新資料館の追加整備費用として、3539万1千円を計上するほか、令和5年度人事委員会勧告に基づく職員給与等の改定に伴い、人件費を増額計上したもので、8718万3千円を増額するものです。

◆第8号

国のデフレ脱却の

ための総合経済対策に伴い、国庫支出金に地方交付税を財源として、町民の消費生活支援等を通じた生活者支援のため、町民一人あたり5千円の商品券を配布する生活支援商品券発行事業に7959万6千円のほか、令和5年度住民税非課税世帯へ7万円等を給付する電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金に9891万円を計上し、合わせて1億7850万6千円を増額するものです。

固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴い、齋藤一彦氏(南町)、藤田登氏(赤羽)、福田光雄氏(母畑)の選任について同意しました。



紙 上 中 継

予算決算審査特別委員会 文教厚生常任委員会

◆生活支援商品券を発行 (7959万6千円)

◆生活支援商品券を発行
(7959万6千円)
今般の社会経済を取り巻く環境は、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響により依然厳しい状況にあります。

令和5年度、国の補正予算によるデフレ完全脱却のための総合経済対策として「物価高騰対応重点支援地方創成臨時交付



金」が追加されました。

町民の皆さんの消費下支え等を支援するため、町民一人あたり5千円の生活支援商品券を配布することになりました。

石川町プレミアム付商品券取扱店、約200店舗で全店舗共通券として利用できます。

◆電力・ガス・食料品等 価格高騰緊急支援給付金 (9891万円)

物価高騰により家計への影響が特に大きい低所得世帯（住民税非課税世帯）等に対し、昨年9月までに給付されている3万円に加え、追加で7万



円を給付するものです。

前回給付した世帯のうち、異動のない世帯については、申請手続きを省略し1月中に振り込みを行います。

また、給付実績のない非課税世帯には順次、確認作業等の手続きを行い給付することになります。

◆令和7年4月に野木沢 小学校を統合

野木沢小学校の児童数が減少し、今年度複式学

級が生じていることから、町教育委員会では、保護者や住民の方々への説明会や意見交換会を行うなど、統合について協議を進めてきました。

また、令和6年度以降、さらに複式学級が増えるため、集団活動等が困難になる恐れがあることから、令和7年4月に野木沢小学校を石川小学校に統合するための条例改正案が審議され、全員異議なく可決されました。



一般質問 町政をたただす

一般質問は、町政全般にわたって町の行政事務の状況や将来に対する方針などをたただすもので、定例会に限って行われます。今回は10名が登壇し、町の考えを尋ねました。

※紙面の都合上、質問と答弁を要約してお知らせします。(質問の一部を割愛しています。)
詳細については、各議員のタイトルの横の二次元コードを読み込むと、録画映像をご覧いただけます。

菊池美知男 議員

P6

- ◆選挙に対する本町の取り組みについて
- ◆農業の振興について
- ◆高齢者等の交通事故防止と支援策について
- ◆駅前工場跡地利用について



迎 茂城 議員

P7

- ◆地域公共交通について
- ◆町職員の人材育成について



鈴木 義延 議員

P8

- ◆人口減少と所得増対策について
- ◆企業誘致対策について



水野谷 常子 議員

P9

- ◆台風により流出した橋梁の早期復旧について
- ◆持続可能な地域環境の整備について



小木 芳郎 議員

P10

- ◆農業振興について
- ◆都市機能が充実した町ライフラインの整備について



根本 重泰 議員

P11

- ◆道の駅の進捗状況について
- ◆観光物産協会の法人化について
- ◆官民共同について



乾 初美 議員

P12

- ◆本町におけるこども家庭センターの発足と今後の子育て支援策の方向性について
- ◆本町における運動施設の充実とスポーツによる地域活性化について



瀬谷 寿一 議員

P13

- ◆自治センターの指定管理制度の導入について
- ◆町内を楽しく安全に歩けるための歩道などの整備について
- ◆危険交差点の点検と早急な対応について



星 恵子 議員

P14

- ◆教育現場におけるICT教育について
- ◆新たなごみステーションの設置について
- ◆ごみの分別による資源化の推進について
- ◆女性に対する暴力や虐待防止について



金沢 和則 議員

P15

- ◆行政手続きのデジタル化について
- ◆成年後見制度の利用促進について



Q ふえ続ける遊休農地の解消策は



質問者の動画が見られます

A 担い手への農地の利用集積集約化を進めています



きくち みちお 議員 菊池美知男

◆選挙に対する本町の取り組み

質問 投票率や経費を踏まえての、投票所数見直しの考え方は。

答弁 様々な事情を総合的に勘案しながら、順次見直しを進めたい考えです。

質問 投票率向上のために、町選管独自の取り組みは。

答弁 投票立会人として、高校生にも協力依頼するなど若年層への周知啓発と併せ一層投票しやすい環境づくりについて検討する考えです。

◆農業の振興

質問 要介護者、身体障がい者等が投票する際の支援策は。

答弁 投票所への移動支援について検討する必要がありますと考えています。

質問 遊休農地解消に向けた町の取り組みは。

答弁 耕作放棄地解消支援事業により農地の再生利用を支援し解消に努めます。

質問 後継者育成の取り組みと課題は。

答弁 今後、担い手育成を目的に県農業経営就農支援センター等の関係機関と連携を図り

ながら、新規就農者や移住者を含む後継者の確保に努めます。

質問 スマート農業推進の支援策は。

答弁 農業経費改善支援事業等の町独自の施策を実施しています。

◆高齢者等の交通事故防止と支援策

質問 危険が予測される歩道等の改修は。

答弁 町交通対策協議会において協議を行い、関係団体に要望、助言をしています。

質問 高齢者ドライバーの自動車運転免許返納の現状と、返納者に対する支援策は。

答弁 町高齢者タクシ―券又は温泉券等の助成を行っています。

質問 高齢者のサポート導入に対する支援策

は。
答弁 国県の支援策の動向を見据えた中で検討する考えです。

質問 自転車ヘルメットの着用推進や任意保険への加入促進は。

答弁 広報チラシの配布等を通じて周知徹底を図ります。

◆駅前工場跡地利用

質問 現状や取り組みは。

答弁 企業誘致を目標し活動してきましたが、希望する企業が見つからない状況です。今後もしも引き続き、企業誘致に取り組んでいきます。



遊休農地の再生利用



待たれる駅周辺の活性化

Q 水郡線、バス交通の今後について



質問者の動画が見られます

A 全線開通90周年を節目に一層の利用促進を図ります



むかえ しげき 議員 迎 茂城

質問 水郡線利用促進の取り組み状況は。

答弁 これまでの取り組みに加え、自治体、JR水戸支社の若手職員で構成するワーキンググループにおいて、日常と観光利用をテーマとした利用促進策を検討し、年度内に事業計画をまとめる予定です。

質問 今後の活性化策は。

答弁 令和6年度は全線開通90周年の節目を迎えることから、団体



通勤、通学に欠かせない水郡線の乗降のようす（磐城石川駅）

質問 バス路線等の現状は。

答弁 町内を放射状に運行する12路線は、高齢者や学生を中心に重要な移動手段の一つとなつていきます。補助額は年々増加傾向ですが、

臨時列車運行による町民の鉄道旅行を企画するなど、より一層の利用促進に取り組みます。



町内外を結ぶ路線バスと発着の拠点である石川営業所

ニーズの高い路線は、利便性を向上させる運行を図っていきます。

質問 今後の考え方は。

答弁 利用が少ない路線は、乗降データを分析しながら、廃止に伴う代替案を示すなどして、住民との合意形成を図ったうえで、路線廃止を決断し、最適な交通網を構築していく

考えです。

◆町職員の人材育成

質問 変革の時代に的確に対応できる人材育成は。

答弁 個々の業務研修をはじめ、階層別の基本研修や選択研修のほか、実務研修、中堅職員研修等による職員の能力向上を図っていきます。

今後も時代の潮流を踏まえ、複雑、多様化する住民ニーズを的確に捉え、時代の変化に対応できる専門的知識、技能や政策形成能力を有する幅広い見識を持った人材を継続して確保・育成していきたいと考えています。

Q 石川町の人口減少と所得増対策について



質問者の動画が見られます

A 人口減少、所得増対策は効果的に実施しています



すずき よしのぶ 鈴木 義延 議員

質問 本町の人口構成の課題は。

答弁 年少、生産年齢人口が減少し老年人口が増加し少子高齢化の急速な進行が課題です。このような状況の中で、様々な影響が生じることが懸念されますが、課題解消に向けて更なる対策を実施していきます。

質問 石川町民の所得増対策は。

答弁 農業については、今後整備される道の駅において、農畜産物の販売、加工品原材料の提供などによる農業所得の向上に向けて、町、

令和元(2019)年度福島県市町村民経済計算年報

	町村名	個人所得額
1	浅川町	2690千円
2	玉川村	2644千円
3	古殿町	2547千円
4	石川町	2501千円
5	平田村	2381千円

生産者、運営事業者と連携しながら推進を図ります。

商工業・流通サービス業については、商工会と連携しセミナーを開催したり、首都圏でのPR活動に対する支援を行っています。

また、展示会出展費の補助やまちなか空き店舗を活用するための

補助金を新設し、所得増対策を講じています。

質問 石川町誘致企業のうち敷地面積1000㎡以上の立地企業は。

答弁 1000㎡以上の立地企業については、製造業を中心に24企業が操業しており、うち誘致企業は15企業です。

質問 企業誘致の方針は。

答弁 第6次総合計画にも企業立地の推進を位置付け、地域の経済成長と雇用創出を促進するため、税制上の優遇のほか補助金などの支援を行っています。また優秀な人材を育成するため、地元の高校生と協働したキャリアチャレンジ事業を実施しています。

質問 企業誘致活動の状況は。

答弁 藤沢工業用地の

未売却地等の情報発信に努めたところ、令和3年2月までに2つの企業が操業を開始するなど、新たな雇用の創出が図られています。今後は企業誘致活動を積極的に展開するために、新たな工業用地の開発について検討していく必要がありますが、町が進めている大型事業との整合性と財政運営にも配慮する必要があります。慎重に対応していきます。



Q 令和元年台風19号で流された川井橋の早期復旧は



質問者の動画が見られます

A 地域の意向を踏まえて総合的に検討していきたいと考えています



みずの やつね こ
水野谷常子 議員

川井橋の早期復旧を

質問 川井橋復旧に係る進捗状況と見通しは。
答弁 新たに橋梁を設置する場合は、増水時にも対応できる強度、設置位置や構造物の必要性など、諸条件を満たすことが求められるため、様々な方法で条件を満たせるよう協議検討を行っているところです。
また、災害時の避難や救援物資の輸送路を安定的に確保するため国道118号と主要地方道白河石川線及び県

道石川矢吹線をつなぐ新たな連絡道路の整備についても、現在県に対し強く要望しているところです。
質問 持続可能な地域環境整備の支援は。
答弁 各地域において少子高齢化など、社会環境の変化に伴い、地域活動の継続的な維持が困難な状況になってきていると認識しています。
こうした中、県道等の環境整備には、県のサポート制度を活用し、県・町・地域が連携した環境整備に努めているところですが、今後、どのような形で地域環境整備への支援ができるのか、さらに検討したいと考えています。



令和元年台風19号の被害を受けた川井橋跡

Q 今後の直接支払交付金制度について



質問者の動画が見られます

A 令和8年度まで段階的に引き下げ減額へ



おぎ よしろう 議員
小木 芳郎

◆農業振興について伺う

質問 直接支払交付金制度の大幅な内容変更による農業従事者への影響は。

答弁 交付対象となる水田の要件が厳しくなり生産者の所得に影響が出るのが想定されるため、関係団体と協議し進めます。

質問 畑地化政策の状況と課題は。

答弁 大豆の作付面積約150アール、麦で約100アール、そばでは約300アールとなっており、本町の生

産は活発とは言えない状況です。刈取機の不足や販売先の確保が今後の課題となっております。

質問 ホールクロップサイレージ専用品種の作付けについて伺う。

答弁 専用品種への見直しについては、各関係機関とメリット・デメリットについて協議したいと思います。

◆都市機能が充実した町ライフラインの整備について

質問 本町の水道普及率と近隣市町村の普及率について。

答弁 石川町が78・3%、玉川村が84・2%、平田村が50・8%、浅川町

98・8%、古殿町95・9%となっており、給水区域の拡大について検討してまいります。

質問 水道未普及地域の負担軽減事業について。

答弁 事業開始から令和4年度までの6年間で94件の補助を行いました。生活に欠かせない衛生的な水を確保するため、制度の効果

的な運用に努めます。

質問 今度の給水区域拡大の計画について。

答弁 多額の事業費を要することから、慎重に検討してまいります。

要望 公衆衛生の向上や生活環境の改善を行い、若者世代に選ばれたい。町づくりを進めて頂きたい。



国産大豆の刈り取りの様子



ホールクロップサイレージの保管状況の様子

Q 地域に還元される、道の駅の仕組み作りは



質問者の動画が見られます

A 農商工観の地域資源と民間事業者のアイデアを活かします



ねもと しげやす
根本 重泰 議員

町民のためになる道の駅であってほしい

質問 特産品開発は。
答弁 現在は、令和4年度に完成させた商品のブラッシュアップを進めています。
また、(株)TTCが石川町に子会社を設立し、加工品等を製造する会社も併せてつくりまします。石川町の地域資源を生かす協議を進めています。

質問 町民の雇用の創出は。
答弁 石川町内に子会

社をつくりまします。道の駅本体には石川町の方を中心に30名から40名の方を雇用したいと提案がありました。

質問 町内への誘導は。

答弁 石川町観光物産協会が道の駅の情報発信機能と町内への誘導を担います。

質問 道の駅のオープンまでの工程は。

答弁 現在、造成と外構を含む建築の基本設計、実施設計を進めています。
令和6年度に、福島県の開発許可を取得次第、造成工事に着手。令和8年の3月にオープン予定です。

株式会社TTCグループと道の駅整備事業基本協定を締結！



株式会社ヤマト 吉井副社長(左)、塩田町長(中)、株式会社TTC 河越代表取締役(右)

定めています。

質問 会社の形態は。

答弁 一般社団法人として地域公益企業を目指します。

質問 社員は。

答弁 当面の間、町職員の出向と地域おこし協力隊。

質問 町が考える官民共同事業は

質問 民間事業者との事業は。

答弁 民間等のアイデア・ノウハウ・技術力などを活用し、道の駅整備事業・公共施設の脱炭素化と強靱化事業・公共施設の包括管理委託等の取組を進めています。

◆観光物産協会法人化はどんな組織に

質問 想定している事業は。

答弁 現在町が実施している観光物産振興事業と着地型観光の視点を持った新たな観光スポットや観光企画を予



質問者の動画が見られます

Q

こども家庭センターの人員配置については、民間企業などを
経験した即戦力となる転職者の採用に力を入れていく考えは

A 来年度から社会福祉士を採用し、対応していきます



いぬい はつみ 乾 初美 議員

児童生徒が気軽に
悩みや不安を相談
できるような環境
を！

◆こども家庭センター
と子育て支援策の方向
性について

質問 子供を連れ来た親
がよく行く場所に町長
や職員が出向く考えは。
答弁 極めて大事なこ
とだと思えます。今後
努めていきたいと考
えています。

質問 現行の保育料の
減額制度について、第
1子が小学校に上がっ

た途端、第2子が第1
子としてカウントされ、
第1子としてカウント
された第2子は半額で
はなく通常の保育料に
なる。保護者の収入や
上の子の年齢に関係な
く、第2子であれば保
育料が半額、第3子で
あればゼロ円としてい
いのでは。

答弁 対応が
可能なものにつ
いては、改善
できるよう
検討してい
きます。

質問 ファミ
リーサポート
センター事業
については、
現在の育児支
援に加えて、
掃除や洗濯、
通院や買物支
援など、サ
ポート内容を
拡大し使い勝
手をよくして

いく考えは。
答弁 改善を図って
いきたいと考
えています。

◆運動施設の充実とス
ポーツによる地域活
性化について

質問 充実した運動施
設の設置とトレーナー

の配置について。
答弁 温水プールのジ
ムを活用して、専属の
トレーナーを配置し、
事業を実施したいと考
えています。

意見 ニーズに合った
機材を増やし充実させ、
トレーナーの常駐を！

質問 スポー
ツによる地域
活性化につ
いて。

答弁 スポー
ツ大会の誘致
や、大会参加
の際に宿泊費
の一部を補助
する制度を検
討中です。

質問 いつ頃
実施予定か。
答弁 来年度
中には実施で
きるよう取り
組んでいきま
す。



地域のお母さんたちと意見交換をする町長・教育長

Q 自治センターの指定管理は不安や疑問が多い



質問者の動画が見られます

A 地域と十分な協議・検討を行う



瀬谷 寿一 議員

◆自治センター指定管理について

質問 区長は、自治会の業務の他、町や自治センターからの依頼業務が増えている。これらの調整はどこで行うのか。

答弁 企画商工課協働推進係になります。これまで以上に実態把握に努めたいと思います。

質問 第6次総合計画後期計画素案では、複数の分野から自治センターへの期待度が高く、本来の自治センターの役割が果たせるのか。

答弁 自治会と自治センター、自治協議会、町との関係性を整理しなければならぬと感じています。

◆まちなかを楽しく安全に歩ける歩道の整備について

質問 まちなかの歩道の点検と修理を早く実施してほしい。

答弁 県中建設事務所と石川土木事務所に強く要望しています。



薬王山の麓にある薬王寺は、平安時代前期に徳一大師の創建と伝えられている。

質問 まちなか再生行動計画でのまちなか散策については、以前に提案された「石川五山」構想を具体化できないか。

答弁 まちなか再生委員からも石川町の資源を活かしたソフト事業の取り組みの意見が多数であるため、そうした内容が反映されるものと思います。

質問 飛鳥川、今出川の堤防などを利用したランニング・ウォーキングロードにトイレの設置はできないか。

答弁 コースの利用状況を踏まえ、今後、検討したいと思います。

◆危険交差点の点検と対応について

質問 住民が危険だと心配している交差点については、早急に点検と改善を行ってほしい。

答弁 危険交差点等については、石川町交通対策協議会で意見聴取や協議を行い、改善の必要がある場合は、施設管理者に要望し対応を図っています。



母畑丈田地内のV字三叉路

要望 郡山市の市道での4人が死亡した事故では、九州大学交通心理学の志堂寺教授が「地元住民が危ないと指摘している場所については、優先的に対策を進めるべきだ」と指摘している。早急な対策をお願いしたい。



質問者の動画が見られます

石川町のすべてのごみの処理に係る経費は

A 令和4年度は1億6400万円です



ほし けい こ 議員
星 恵子

◆教育現場におけるICT教育について

質問 本町の支援体制について。

答弁 ICT支援員を配置し、各学校で定期的に支援しています。

質問 教師の多忙化に対する配慮について。

答弁 ICT支援員の配置などにより、ICT教育が多忙化につながらないよう取り組んでいます。

◆新たなごみステーションの設置について

質問 ごみの処理に係

る費用について。

答弁 本町のすべてのごみの処理経費は、令和4年度は1億6400万円です。単純に町民一人あたりに換算すると、1万2689円になります。

質問 ごみステーションの設置基準について。

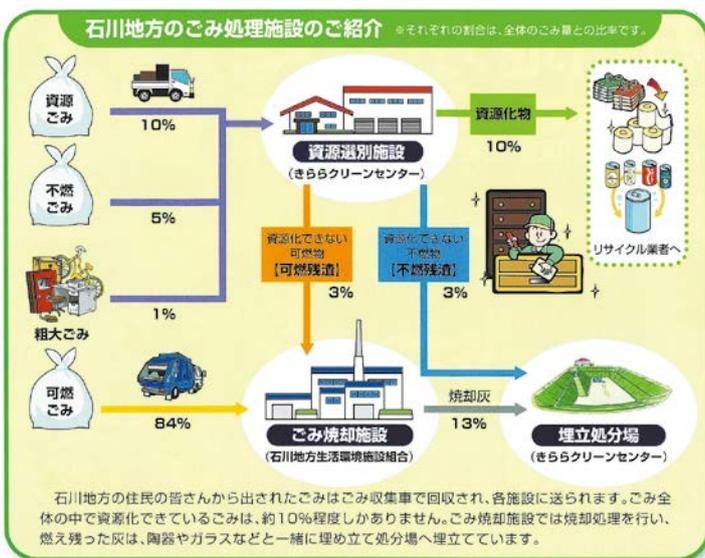
答弁 行政区の申請を受け、10戸以上の世帯、

交通に支障なく安全に回収できる場所を基本に選定しています。

質問 動物対策への補助について。

答弁 今年度、簡易的な折り畳み式のごみ置場を試行的に設置したところでは。

要望 高齢化や居住環境の変化など、実態に合わせた状況の把握をお願いしたい。



◆ごみの分別による資源化の推進について

質問 資源ごみの回収状況および資源化率は、令和4年は442トン。資

源化率は10%と横ばいです。

質問 一層の分別促進に向けた施策について。

答弁 可燃ごみの分析調査や、小学4年生を対象とした簡易コンポストの実験などに取り組んでいます。

◆女性に対する暴力や虐待防止について

質問 虐待防止の取り組みは。

答弁 パープルライトアップの実施、公共施設へのDV防止ステッカーの貼付などを行っています。

要望 女性にとって安全・安心な町は、高齢者や障がいをもつ人にとってもくらしやすい町であり、子どもたちも安心して成長できる場が必要である。

Q デジタル化を進める上で石川町の考えは



質問者の動画が見られます

A 情報格差のない対策に取り組みます



かなざわ かずのり
金沢 和則 議員

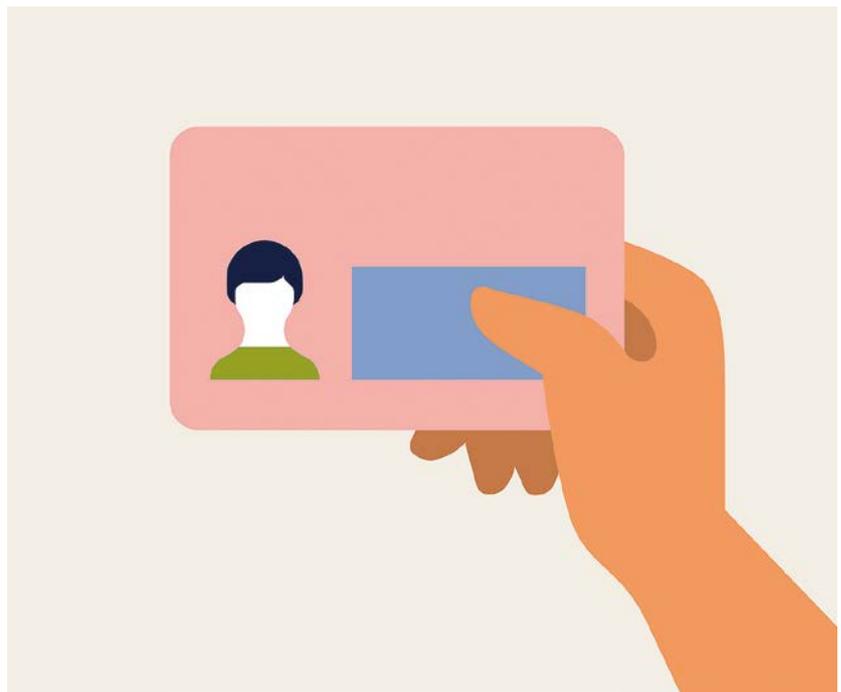
◆ 行政手続きのデジタル化

質問 これからの石川町におけるデジタル化に対するグランドデザインについて。

答弁 デジタル技術を活用した利便性の高い行政サービスの提供に努め、多くの町民がデジタル技術を活用した効率的なサービスを活用できる環境の構築に努めます。

質問 町民向けのマイナンバーカードを利用した行政手続きについて。

答弁 町が実施できる



行政を効率化し、町民へ利便性の高いサービス提供

子育て、介護の26手続きをマイナポータルから申請できるように、令和4年度にシステム改修するなど環境の構築を行っています。

質問 自治体DX推進計画への対応について。
答弁 自治体情報シス

テムの標準化・共通化において、国の仕様が固まりつつある業務から令和6年度にはシステム移行に向けてデータの分析及び整理作業を実施し、令和7年度末までに確実に移行できるように作業を進めています。

◆ 成年後見制度の利用促進

質問 成年後見制度利用支援事業の利用状況と今後の対応について。

答弁 石川町成年後見制度利用支援事業実施要綱を制定して以降、利用者は1名にとどまっています。引き続き、事業の実施に必要な予算措置をするとともに、制度の周知広報や相談受付体制の整備に務めたいと考えています。

質問 地域連携ネットワーク及び中核機関の構築に係る現状と今後の対応について。

答弁 両機関の設置については、管内5町村で検討してきましたが、いまだ結論が出ない状況です。本町としては、早期設置に向けて努力していきたいと考えています。

母畑レークサイドセンターの今後の考え方について

令和4年12月
定例会より



笑顔の子ども達

あれがどうなった？

一般質問のその後は

母畑レークサイドセンターの令和4年度利用者数は1万9000人で、前年と比較し800人の増加となっています。また、施設については、老朽化が著しく進行している状況にあり、最低限の修繕等を行いながら適正管理に努めています。

町では、施設全体の管理運営について、民間のアイデアを募集し、新たな発想で活用できるトライアルサウンディングを実施していますが、今年度は、提

案事業者がない状況です。引き続き、施設の利活用提案策の募集を継続しながら、今後の施設の在り方や管理体制、運営方法の見直しなど、有効活用策についても検討していきます。

石川町認定こども園の建設始まる！

令和4年1月に着工した用地造成工事（志賀建設。請負額1億9118万円）は、1668万7千円の補正予算が追加され、工期を約一か月延長し、令和5年12月22日に完了しました。

令和5年11月29日には、建築工事の入札が行われ、高田工業(株)浅川営業所が落札し、請負額は8億3842万円となり、契約の締結については、12月定例会において全員異議



起工式での町長の鍬入れ

報告します 議会の活動

議会報告会実行委員会先進議会調査 (12月19日)



宮城県柴田町議会が実施している「一般懇談会」「団体懇談会」「高校生との懇談会」などについて、具体的な進め方や留意点、議員の役割などを研修しました。今後本議会で意見交換会等を開催する際に生かしていきたいと思いを。

第8回臨時会
(11月6日)

第8回臨時会は11月6日に開催され、専決処分の承認と教育委員会委員の任命について審議しました。

◆議案第80号
「専決処分の承認を
求めることについて」

新型コロナウイルス
スワクチンの追加接
種に係る経費につい
て、国庫支出金を財
源に3999万7千
円を追加することに
全員承認しました。

◆議案第81号
「石川町教育委員会
委員の任命につ
いて」
會田泰子氏の任命
について同意しまし
た。

未来に向かつて ・ 高校生の声

県立石川高校

3年

すずき ゆうき
鈴木 勇気

私の夢



私の夢は、立派な介護職員になることです。私が入学した県立石川高等学校の特徴であるキャリアチャレンジで介護の知識を学んだことが、介護職を志すきっかけになりました。約二年間、希望していた介護施設のさくら荘、愛恵自立支援センターで実習することができました。実習先では利用者の方々との接

し方、昼食の配膳やテーブルの消毒など、普段から施設職員が行っている仕事を体験し、貴重な経験となりました。また、実習の中で利用者から「ありがとう」

と感謝の言葉を言っていただけ時は、非常に嬉しかったです。同時に、その感謝の気持ちに、やりがいへとつながっていくんだと感じました。

四月からは、念願の介護施設で働くことになりました。キャリアチャレンジで学んだことを忘れずに、さらに経験を積み、社会福祉に貢献できる立派な介護職員を目指して頑張っていきたいと思えます。



実習時、一日のスケジュールを確認

編集後記

「議会だより」は広報常任委員会の6名で編集しています。

改選後は、新人議員が4名(男女各2名)、三期目議員が2名の編集体制となり、新人議員を中心に議会の審議結果や活動などを住民に周知するため、更に読みやすい「議会だより」を目指して協議検討しています。以上、新しい編集体制のお知らせです。
増子美知夫

議会を
傍聴しませんか
3月定例会
「一般質問」は
3月11日(月)の
予定です。

議会インターネット中継

町議会では、本会議の映像を配信しています。町ホームページを經由してYouTubeで視聴することができますので、是非ご覧ください。ホームページへはこちらの二次元コードからアクセスできます。



**広報
常任委員会**
委員長 根本 重泰
副委員長 増子美知夫
委員 迎 茂城
委員 水野谷常子
委員 星 恵子
委員 角田 保寿

